

# 〈東〉と〈西〉の ディアレクティク

総合文化研究 10号  
目次

2	巻頭言		
6	ユーラシア主義における〈東〉と〈西〉 渡辺雅司	153	村尾誠一著 『残照の中の巨樹——正徹』 岩崎務
27	会津八一ノート —近代古寺巡礼の東と西— 村尾誠一	156	八木久美子著 『マフフーズ・文学・イスラム——エジプト知性の閃き』 川口健一
37	ニュー・プリマーとしての「ピコーラ」 —トニ・モリスンの『青い目がほしい』 荒このみ	158	柴田勝二著 『漱石のなかの〈帝国〉——「国民作家」と近代日本』 鈴木聡
66	トランジット・ベルリン —あるいは〈東〉と〈西〉のトポロジー 谷川道子	163	米谷匡史著 『アジア／日本』 今福龍太
78	死の手紙、東へ？西へ？ —説話伝承研究の試み— 水野善文	165	シコ・ブアルキ著／武田千香訳 『ブダペスト』 柳原孝敦
103	第6回F・スコット・フィッツジェラルド 学会をめぐって 加藤雄二	170	エルフリーデ・イエリネク著／谷川道子訳 『レストハウス、あるいは女はみんなこうしたもの』 『汝、気にすることなかれ』 —シューベルトの歌曲にちなむ死の小三部作』 博多かおる
122	インド化再考 —東南アジアとインドの文明と対話— 青山亨		
	書評		
147	西永良成著 『激情と神秘——ルネ・シャールの詩と思想』 柴田勝二		
150	亀山郁夫著 『大審問官スターリン』 山口裕之		
		報告	
		177	サヴィーニオの哲学 ロベルト・テッロージ／住岳夫訳
		--	総合文化研究所 2006 年度活動報告 編集後記